



取扱説明書(ヒュンダイ編)

ご使用になる前に.....	2
はじめに.....	3
安全にご利用になるために	4
診断機能.....	6
作業サポート機能	7

ご使用になる前に

はじめに.....	3
安全にご利用になるために	4

本取扱説明書では、ヒュンダイ車の診断機能に関してご説明させていただきます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
本体の基本的な操作は、本体の取扱説明書をご覧ください。

株式会社インターサポート

- 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。
- 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。



警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。
- アクティブテストはヒュンダイのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態(ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時)および、車両停止状態(パーキングブレーキをかけて、輪留めをする)で実行してください。

診断機能

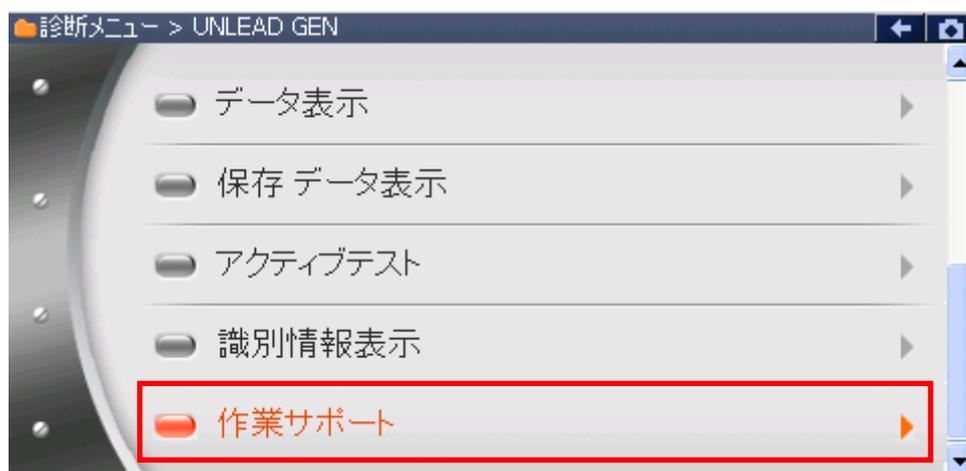
作業サポート機能	7
----------------	---



警告

- 作業サポートはヒュンダイのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
 1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
 2. ブレーキペダルを踏込む。
 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

1) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して  ボタンを押してください。



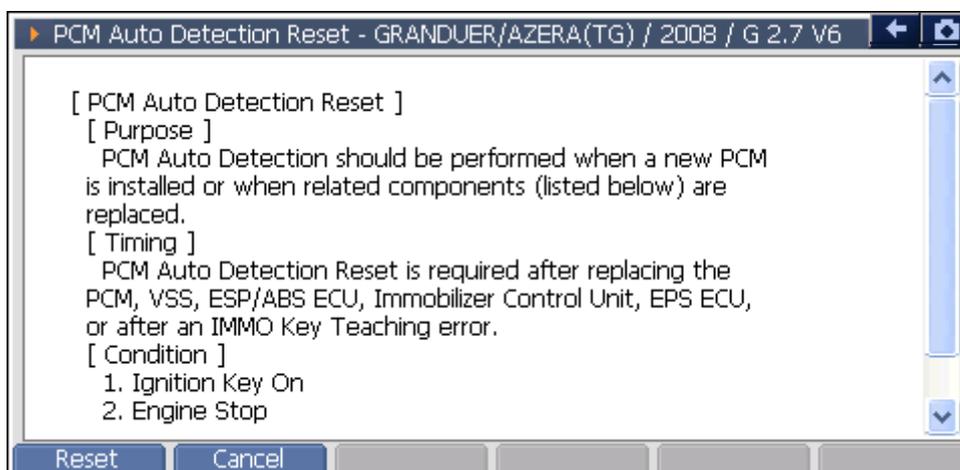
〈図: 診断メニューにて作業サポートを選択〉

- 2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。実行する項目を選択して  ボタンを押してください。



〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 3) 作業サポート実行画面が表示されます。画面の指示に従って作業サポートを実行してください。



〈図: PCM学習リセット実行画面〉

※注意と補足※

- ・ 上記の画面はPCM学習リセットの実行画面です。
表示される内容は実行する作業サポート項目によって異なります。



株式会社 インターサポート

〒310-0803

茨城県水戸市城南1丁目6番39号

Tel 029-303-8021 Fax 029-303-8022

<https://www.inter-support.co.jp>

製品保守センター

(修理のお問合せはこちら)

Tel 0570-064-737 →②(ナビダイヤル※)

サポートセンター

(製品のご相談・ご質問はこちら)

Tel 0570-064-737 →①(ナビダイヤル※)

Fax 029-303-8055

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2014年2月発行 第10版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。

G1PZFDN001-13-10